

令和2年1月29日 教育委員会報告事項についての質疑応答（要旨）

（報告）

ア 令和元年度移動教育委員会「語り合おう！はままつの教育」の開催結果について  
※教育総務課長から資料に基づき説明。

（安田委員）要望として、学校現場等へ開催を案内する通知文に、参加者が良かったと感じた点を記載して欲しい。

（渥美委員）参加者の質問・意見に対して、我々教育委員や事務局が一方的に回答するやりとりであれば、回答を紙に集約して配付すれば良い。移動教育委員会が「意見交換の場」となるよう、進行方法を工夫して欲しい。

（教育総務課長）天竜区役所で行った第4回移動教育委員会では、事前に、参加者と電話等で質問内容の調整を行い、参加者と教育委員の意見交換が展開するように試みた。実際は、参加者の発表が予想以上に長くなるなどで、意見交換の時間を十分に確保できなかったが、引き続き、移動教育委員会が「意見交換の場」となるよう、工夫したい。

（鈴木委員）今年度、初めての試みだった高校生を対象とした移動教育委員会は、非常に有意義でよかった。もう少し参加者の範囲を広げ、例えば「浜市講座」の1つの講座として位置づけ、OB・OGの教員を講師として招いて実施するのも良いと思った。

（黒柳委員）各移動教育委員会で、現場の生の意見を聞くことができてよかった。要望としては、保護者を対象に教育会館で行った第2回移動教育委員会では、特定の人発言が多かったので、参加者全員が発言できるよう、グループ分けを検討してもらいたい。

イ 令和元年度幼稚園教諭・保育士採用試験結果について（令和2年度採用）

※幼児教育・保育課長から資料に基づき説明。

（田中委員）今回の採用者数が少ないように感じるが、必要人数を確保できたのか。

（幼児教育・保育課長）採用人数は、年度間でバラツキがあり、今回も必要人数を確保できた。

（鈴木委員）Ⅳ類（経験者枠）の採用について、Ⅱ類（新卒者枠）の倍率に対して、非常に厳しいように感じる（1次試験の受験者数15人に対し、採用者数0人）が、このように低くなったことに、何か理由はあるか。

（幼児教育・保育課）3次試験までの選考の結果、今回は採用がなかったものである。特に、今年度が厳しいということではない。

(鈴木委員) 小中学校の教員採用試験では、教員としての経験が採用試験でアドバンテージとなるが、幼稚園教諭・保育士試験では、そのようなアドバンテージがないのか。

(幼児教育・保育課) 幼稚園教諭・保育士試験では、教員としての経験が特別アドバンテージとなることはない。

(安田委員) IV類の受験者は、職務経験があることから即戦力として期待できると思われるが、採用試験を受験する方の属性はどのようなになっているか。

(幼児教育・保育課) ほとんどの人が市内の方で、民間の保育園経験者や市立幼稚園で臨時職員として働いていた方が多い。

(安田委員) II類受験者は、IV類受験者と比較した場合、筆記試験や面接試験への対策が十分に行われているように思う。従って、横並びで選考するのではなく、IV類受験者の経験者としての特性を生かした選考を検討していただきたい。

(渥美委員) 経験者枠を設けているのは、採用に際して思いがあるはずである。15人の受験者が全員不合格というのは、その思いが全否定されることであり、採用試験の基準について、新規採用者と同じ基準が良いのか、違う基準が良いのかを含めて再検討をしていただきたい。